

# 第8回 京都国際インディーズ映画祭 / 第3回 京都映像アワード

## ▼ <予告編・トレーラー上映>



### 草刈る人

監督・岡崎まゆみ  
(日本) 12分

3.11 東北大地震で日本も世界も驚愕の風景を目の当たりにした。千年に一度と言われる巨大地震と、いまだになお解決がつかない福島原発の事故。作品の舞台は、原発銀座と言われる福井県。3.11 福島原発事故以降、廃炉が再稼働か? で揺れる福井と都市の人々の姿を追う。(この作品は2011年6月~2012年8月時点で取材されたもののダイジェスト・予告映像です。取材・撮影は現在も継続中です)



### Opening Video Art

(協力)・京都芸術高等学校・美術科

「授業の学び」が「社会に関わる機会」となる実践の場として、京都芸術高等学校の生徒作品が、第8回京都国際インディーズ映画祭&第3回京都映像アワードのイメージ映像に参加。



### キミマツサクラ

キミマツサクラ桜色福プロジェクト

京都・嵐山駅のさくらの庭に、「キミマツサクラ」と命名された桜の木がある。それは東日本大震災の復興支援を願う有志団体に託され、植樹された福島・三春滝桜の苗木。東北の復興を願い、震災の記憶を風化させないためのシンボルとして、「生きていたら必ず会える」というメッセージを伝え続けるために。

## ▼ <本編>: 2014年度入賞作品



### ノネコの引っ越し

監督・岡田紗由香(中央大学FLP松野良一ゼミ)  
(日本) 10分5秒

世界自然遺産の小笠原。珍しい生物が豊富なはずだが、生物の一部が絶滅して、その原因の一つが外来種のノネコにあるという。200年前人が定住し、戦時中に無人化したことから飼い猫が野生化した。一人の獣医が中心となってノネコを引っ越しさせ、本土(東京)で飼い猫とする活動を追う。飼い主の笑顔が素敵だ。



### 広島原爆の惨禍 ~もう一つの証言映像~

監督・松田治三  
(日本) 18分53秒

瀬戸内海に浮かぶ広島島は自然豊かだが、1976年土木作業中に617体の遺体が見つかった。広島原爆での被災者を秘かに処理するために埋められたものだ。発掘の模様を8ミリフィルムで収めたのがビデオ仲間の故 中畝健雄氏。作者はこの映像を足掛かりに、証言をもとに当時を解明する。映像記憶遺産としても貴重。



### ネジとねこ

監督・馬場美紀  
(日本) 9分30秒

線画タッチのメルヘンなアニメーション。工場でネジを作り続けている職人のネコが主人公で、不可思議なカフカ文学を連想させる。華やかなテレビの芸能人を見て、自分を惨めに思うようになり、落ち込み、引きこもってしまう。しかし、嵐で壊れた時計塔を直し、1本のネジに込めたものづくりへの思いを再確認する。



### Dear Flying SHISA

監督・塚原真梨佳  
(日本) 19分40秒

退役した父にカメラを向けながら、「父親が自衛官だったことが嫌だった」と語り出す娘。「国よりも家族の方を大事にしてほしかった」ビデオがクッションになって親子の本音が語られていく。急患空輸の任務に就いていた父もしっかりと“気持ちのキャッチボール”を返す。自衛隊家族の心の動きが興味深い。



### Le Printemps (Spring)

監督・ジェローム・ブルベス Jérôme Boulbès  
(フランス) 15分13秒

森の奥で密やかに繰広げられる精霊たちの饗宴。マスクは、その時を待ち、音楽が始まる…。ケージがもたらされ、精霊たちの春の祝いの式典が始まる。幻想的な自然観を3Gアニメで幻想的に表現。



### 延命地藏尊 一さや堂再建への願い

監督・菅原英樹  
(日本) 5分32秒

2011年、東北大地震の津波で流された、気仙沼・鹿折(ししおり)地区にある「石橋のお地藏さん」のさや堂(屋根)を再建し、地域の「慰霊の場」にしたいという願いを映像に込めた作品。



### 或る学生のものがたり

監督・荒瀬佳孝  
(日本) 23分

1978年、夏、京都。市内の某大学に通う女子大生が何者かによって刺殺された。哀しみに暮れる同級生の遠山研二は彼女の実家へ出向き、母親と会った。彼女を殺した犯人を殺してやりたいと言う母親と、そして研二。やがて、彼女にしつこくつきまとっていた男の存在が明らかになる…。京都市電が廃線になった年の、或る学生のものがたり。



### 石の男たち (Hommes de pierre)

監督・林 瑞絵  
(フランス) 12分

フランス西部ロワール地方の町ブリサクにほど近い地。個人所有の城館修復に動しむ石工の男たちがいた。19世紀建立の建物に着手してすでに3年、完成にはあと1年半はかかるという。耳をつんざく音も気にせず、今日も黙々と修復作業を続ける男たちの1日を、カメラは追う。



### 静かな絶望 (THE MASS OF MEN)

監督・ガブリエル・ゴージェ Gabriel Gauchet  
(イギリス) 18分

55歳無職のリチャードは、またしても失業保険手続きのアポに遅刻する。女は、遅刻の罰として冷酷にも給付金の一時停止を言い渡す…。問題は、彼女がシステムか? ロカルノ国際映画祭グランプリ受賞を始め、80以上の映画祭で受賞した衝撃的な問題作。



### 消えたスカーフ (THE MISSING SCARF)

監督・イオン・ダフィ Eoin Duffy  
(アイルランド) 7分

森に潜む恐怖を描いたブラック・アニメーション。未知に対する恐怖、失敗への恐怖、拒否される恐怖、そして死への恐怖…。物語はどこへ展開するのか? ナレーションは、日系俳優のジョージ・タケイ。



### 脱皮できない蛇は死ぬ

監督・佐々木真由  
(日本) 12分34秒

• 埼玉県立芸術総合高等学校・映像芸術科

皮を脱げ、成長しろ。変わっていくことを恐れるな。自分が望む望まないに関わらず、世界は常に変化していく。



### 五月晴れ

監督・室井美希  
(日本) 9分26秒

• 埼玉県立芸術総合高等学校・映像芸術科

梅雨入りから約6570日目。本日の天気は晴れ、五月晴れ。ワタシは聞いたよ。「明日は雨? 梅雨明けはいつ?」そしたら誰かが答えてくれた。「梅雨明けはもうちょっとだけ、先。」



### バナナフィッシュ

監督・田中瑛爾  
(日本) 13分10秒

• 埼玉県立芸術総合高等学校・映像芸術科

まるでここは水の中のような。いつも僕は沈んでいて、それでいて君は…。…泳ぐのが一番上手い果物か。



### 野老ゴールデンとその記録

監督・朝倉舞彩  
(日本) 15分

埼玉県所沢市はかつて「野老澤」と呼ばれていたそう。所沢産の地ビールを作ろうと意気投合した男たちが、手作りの試みを始めた。所沢産の麦を使い、まずは地産地消を目指し、その後に所沢ブランドとして販路を拡大したい。工場内装から製造機器の発注まで、自分たちでコツコツとやってきた。この記録は彼等に共感した作者が2年間にわたって取材した、ユニークな記録である。



### 繭を煮る

監督・白鳥蓉子  
(日本) 19分

首都圏までは通勤圏に入るその街は、観光地でも商業地でもないどこにでもある街だ。背後には団地を抱えた商店街は、かつての賑わいを失い、一方では風俗店などが乱雑に立ち並び始めた。この街を離れた若者、留まったもの、帰ってきたもの、それぞれの心情が風景の中に交差する。